

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成20年4月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	調味材料製造業	石川県内の醤油出荷量は、前年同月比で大幅に増加した。これは18年ぶりの価格改定に先だった前倒しの需要であったため、今後の推移に注目している。
	パン・菓子製造業 (主にパン)	学校給食用パンに爪楊枝が入っていたことにより、市教育委員会でパン給食の再開のめどが立たせておらず、組合員(供給者)と児童生徒(消費者)のあり方や形態について再確認する時期かと考えられる。
	パン・菓子製造業 (主に菓子)	入学シーズン等により注文菓子が増え、売上高がやや増加した。
繊維・同製品	織物業 (石川県内)	売上高は増加しているが、原材料の高騰分を価格に転嫁できず収益状況は悪化しているため、業況は悪化している。
	織物業 (小松方面)	絹分野において、前年同月比でみると販売価格の低下傾向から更に厳しさが増しており、輸入品の圧迫、需要の減少、ローン販売の規制強化、流通段階の信用不安がその要因となっている。受注ロットの減少、原油高による加工、流通コスト高により採算性は悪化している。合繊分野においては、中近東向け差別化織物で堅調な動きがみられるが、国内向けインテリア織物は厳しい。少ロット受注、試作開発費の増大、原油高から生産関連のコストアップにより、採算性は厳しい状況である。
	その他の織物業 (染色加工・生産)	組合員の業況については、昨年度の今頃から急激に悪化し、その状況が変わらないまま現在に至っている。近年の生活様式の変化による着物離れ、不安定な社会情勢による高額品の買い控え、呉服・宝石の過量販売問題など業界にとってはマイナス面での話題が多い。
	その他の織物業 (織マークの生産・加工)	昨年同月比で売上はほぼ横ばいとなった。しかしながら、個々の組合員をみると減収、減益の傾向は収まらず、また一部では全く仕事のない組合員もあり、組合員はもちろんのこと組合経営にとっても厳しい状況が続いている。
木材・木製品	製材業、木製品製造業 (能登方面)	昨年は地震の関係で4月は出材が少なかったが、今年はお出材が多く、売上高は昨年と比べ1,868万円多くなった。
	製材業、木製品製造業 (加賀方面)	例年連休前後に大量の需要が出る事が多く、本年度も期待通りであった。
窯業・土石製品	粘土かわら製造業	業界全体の業況が落ち込んでいる中、当組合は営業と新商品開発で売上は増加したが、取引状況が厳しくなってきたり、結果として収益状況は悪化している。
	陶磁器・同関連製品 製造業	業況は対前年同月と比較するとほぼ横ばいであった。原油素材高の影響により素地や箱等の値上げがなされ、商品にも影響が出ている。第100回目を迎えた九谷茶碗まつりでは、昨年より来場者は増え、終日賑わいがみられた。その売上についてはまだ集計されていないが、前回と比べほぼ横ばいから若干の減少が予想される。
	砕石製造業	4月の組合取り扱ひ出荷量は、対前年同月比で生コン向け出荷量は16%減、合材用アスファルト向け15.9%減となり、全体出荷量では16%減といずれも大きく減少した。このような厳しい販売量に対し、生産コストは年々高騰が続き、業界としての自助努力にも限界があるため、取引先に対して価格改定を行い、一部を除き理解を得ている。
鉄鋼・金属	鉄素形材製造業 (鉄鉄物の製造)	原油高の高騰、物価高、国際情勢の不安定が国内景況に悪影響を及ぼしており、景気の停滞に繋がっている。当業界では製造価格の値上げ、鋳物業取引改善等でユーザーの方々との折衝を重ね、それなりに理解を得ているものの現状は厳しい。
	鉄素形材製造業 (鉄鉄物の製造・修理)	前月同様、各指標に著しい変化は生じていない。景況は不透明であり、原油、原材料の高騰や諸物価のインフレ傾向等経済のリスクが増している。当工業団地の組合員企業においても、景気の先行を警戒する経営者の声が多く、その減速度合を不安視している。
	一般機械器具製造業	団地内売上計上は、前年比95%の1,200億円であり、経常利益は前年比95%の69億6千万円であった。予測ではマイナス要因がないため期待をしていたが、残念ながら伸びは見られなかった。市場の動向と同じ傾向でゆるやかな下降線となっている。
一般機器	機械金属、機械器具の 製造	主力の繊維機械の落ち込みが全体の売上減に繋がっている。鋼材価格の高騰はコストダウンを上回っており、収益を悪化させる要因となっている。ゴールデンウィークの長い連休を控え、納期調整のための長時間作業が見られたが、概して落ち着いた状況を維持している。
	プレス、工作機械	現状の受注状況は、前年と比べると好調なレベルであり、売上高は微増した。鋼材価格は仕入れ価格が上昇し、今後更なる引き上げが予想される。また、金属部品や石油製品など副資材や原材料の価格も上昇しているため、収益面での不安要素が大きい。
	機械器具及び其の他 金属製品の製造	鋼材が約30%値上がりし、その上入手しにくい状況になってきている。当業界では受注があっても材料がなければものづくりができないが、製鋼所はフル稼働のため増産は見込めず深刻な問題である。
	繊維機械製造業	繊維機械向け部品加工は大きく落ち込んで半減状態であり、この状況は秋頃まで続く見通しである。このため、繊維機械向けの比重が高い組合員は仕事量の確保が課題となっており、苦心している。
	機械、機械器具の製造 又は加工修理	原油、資材が高騰している。
製造業その他	漆器製造業 (加賀方面)	近代漆器の素地原料、塗料、溶剤等の値上げ圧力が強く、組合で共同購買を実施している溶剤は仕入れ価格の上昇に伴い10%前後の値上げを行った。カタログ販売は、前年同月比で若干のマイナスと下げ止まり傾向を見せているが、産地全体としては静かな春商戦のスタートとなった。

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成20年4月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	各種商品卸売業	当組合内の新入社員数は、本年度13社で計55名(男性31名、女性24名)、昨年度19社で計67名(男性51名、女性16名)となった。
	繊維品卸売業	個人消費の低下傾向による売上高の減少や在庫の積み増しがあると聞いている。
	農畜産物・水産物卸売業	長らく売上高は減少を続けてきたが、今は久しぶりにわずかながらでも増加に転じたため、今後期待していきたい。
	一般機械器具卸売業	昨年、施行された新建築基準法のために落ち込んだ住宅着工件数は、対前年同月比で19%ダウンと全く回復の兆しが見えない。3~4月と納入先である建設業の倒産件数が増え、先行きが不安である。今後、どう補っていかねばいいかわからない状況である。
小売業	百貨店・総合スーパー	4月の売上は前年比で92.8%、客数は92.6%とほぼ全店舗で軒並みダウンとなった。貴金属の不調は相変わらず続いているなど、クリーニング等のサービス以外は不調であった。ゴールデンウィーク開始週(4月第4週)は天候が良かったせいか、売上、客数とも昨対で2割ダウンした。
	男子服小売業 婦人・子供服小売業	本格的な春物から初夏ものへ商品移行時期であり、大いに期待するものの、肌寒さの影響や物価上昇の気運で低調ムードの中で、長袖や上着等が動き、100.5%と前年同月比を辛うじてクリアできた状況であった。
	鮮魚小売業	月初めは入荷は少なめだったが、徐々に順調となった。中旬は入荷量が安定せず、また下旬は入荷量が少なく、全体的に高値で推移し、特にアジ、サバが高値となった。今月から当市場が実施する「二番セリ」を実施し、朝獲れた鮮魚を入荷することにより好評を得ている。
	米穀類小売業	食の安全を重視して、消費者の購買動向が変化しつつあるように感じる。小麦粉、バター、大豆製品等の価格高騰に消費者の不満が大きくなりつつある状況である。米に関しては、中国、アジア諸国の国際価格の高騰で日本産米の見直しがなされ、19年度産の不足が懸念される。いかに外国産に頼ってきたかを実感させられ、今後自給率のアップを図ることが国内農業の課題となると思われる。
	機械器具小売業	地域店の売上高は、昨年同月比で94%とダウンした。製品別では、TVはトータル(液晶、PDP)で94%、冷蔵庫86%、洗濯機70%とそれぞれダウンし、掃除機118%、ルームエアコン136%、エコキュート121%と伸びるも、主力製品であるTVのダウンした分をカバーするに至らなかった。消費生活用品の値上げが耐久消費家電品の買い控えに結びつかないことを願うのみである。
	燃料小売業	月の前半は、系列元売により暫定税率期限切れに対する対応が異なったため、仕入価格に差が生じ収益的に大きな影響を及ぼした。また、マスコミの安値販売報道に煽られ、やむを得ず早々と新税率価格に追随して赤字覚悟の販売が出現した。後半では、暫定税率復活の想定により駆け込み需要が増加した。今後、暫定税率が復活しても4月税率で販売を続ける業者があると市場が混乱する恐れがある。復活後は税金分25.1円に加え、原油高騰分を合わせて実質30円前後の値上げが必要となる。
	他に分類されない その他小売業 (土産物)	昨年は能登半島地震で大きく売上を落としていたため、前年比の売上高は増加した。一昨年と比べると微減であった。暫定税率の復活は、観光業界にとって向かい風となるであろう。
非 製 造 業	商店街	
	近江町市場	来街者は前年同月に比べて増加し、特に飲食店関係が盛況であった。
	尾張町商店街	大手外食チェーンにて食事をした際、マニュアルの指示通りに料理を作っている光景に異感し、何かが足りない気持ちになった。来年も10年後もたゆまず心のこもったサービスをすることが高い飽きないの原点であるとすれば、形だけの高いはいつか飽きられてしまうため、飽きられない商売について考えさせられた。景況は、4月は伸び悩んだ月であった。3月末で抱えた受注残の処理で、忙しいわりに数字上の売上は前月で済んでいるからであろうか。
	片町商店街	花見シーズン到来で、春の歩行者天国、兼六園、金沢城のイベントで週末は観光客を併せて人通りが多く、宿泊施設や飲食店は好調であった。ただし、夜の繁華街については、金沢駅周辺に集中して飲食店が進出しそこで客足が止まったため、全体的には前年と比較すると厳しい月となった。
サービス業	旅館、ホテル (金沢方面)	営業不振により、3月に1社が廃業、4月には1社が自己破産した。全般的に厳しい状況が続いている。
	旅館、ホテル (加賀方面)	温泉観光地としてオフ期に入り、GW及び夏休み需要の営業展開を行っている。6月1日から台湾便の就航、7月5日には東海北陸自動車道全線開通を見据えた情報発信が重要である。一方、先行き不透明感が強くなる状況の中で、原油高の高騰分を価格に転嫁できないなど、厳しい景況が続く。
	旅館、ホテル (加賀方面)	宿泊客数について、前年同月比で温泉地全体的の宿泊客数は112.2%と増加、新規開業した2館を除いた既存旅館においても104.9%と増加がみられた。しかしながら、販売、採算面において旅館経営は依然として厳しい状況におかれている。また、消費の低下傾向により、個人旅行への意欲に影響が出はじめている。ゴールデンウィークの宿泊状況や5月の予約状況のみを限り、決して楽観視できない状況である。
	旅館、ホテル (能登方面)	昨年は地震の影響があったため単純な比較はできないが、前年同月比で売上高は増加した。原材料価格の高騰が続くため、今後どうなっていくのか心配である。
	自動車整備業	平成20年度に入り、4月の継続検査実績は対前年比で15.3%減となり、登録車で20.2%減、軽自動車でも4.6%減とマイナスで推移している。今年度は継続検査において若干マイナスで推移すると思われるが、どこまで対前年比で減となるかこれからの動向を注視したい。一方、新規検査については、暫定税率失効により自動車取得税が今は5%から3%になったことで、登録車が対前年比で5.0%増、軽自動車で4.8%増となっている。しかしながら、再び5%に戻るから、その後の動向を注視したい。
建設業	一般土木建築工事業	直面している問題点は、需要の停滞が大きい状況の中、仕入れ単価の上昇に反して販売単価の低下や上昇が困難であることが挙げられる。現状は、公共事業の削減に加え、民間の設備投資の減速気味により、工事発注が減少傾向であり、競争激化による安価な工事が多くなっている。また、この時期は公共事業の発注が少ないうえ、道路特定財源の一般財源化問題により発注が中止されるなど、今後は一段と厳しさが増してくると予想される。
	板金・金物工事業	売上高、収益状況は悪化しており、それに伴い業界の景況は悪化傾向にある。銀行の融資等については好転の兆しがある。
	室内装飾工事業	原材料の値上げはメーカーにより実施日の差異はあるものの、5月中に実施される場合が多いが、簡単に値上げ分を販売価格に反映できないため、今後の業界の景況が注目される。
運輸業	一般貨物自動車運送業 ①	4月は軽油の暫定税率の期限切れで税額17円ほど下がり、原油値上げ分の5円程度が上乗せされても実質12円程度の値下げと一服感はあるものの、一方ではこの影響を受けて公共事業の工事が凍結されることで、荷動きにどう影響がでるのかが注目すべきである。厳しい経営を続けている経営者にとっては、このままの現状を望んでいるであろうが、5月1日から再度17円程度の税金を含め23円程度の値上げとなる。国土交通省が主体となって燃料サーチャージ制度の導入を図ることとなったが、暫定税率が復活する5月以降の重要な課題となりそうである。4月から高校卒業の新規採用者について、道路交通法の改正により、今年春卒業生が取得している普通免許では最大積載量5トン(従来は8トン)の車までしか運転ができなくなった。今後このような若者を日頃の安全運転等の社内教育を実施しつつ、中型や大型免許取得に向けて養成していくことが事業者にとって新たな負担となりそうである。
	一般貨物自動車運送業 ②	4月の売上は前月に比べ、この時期例年減少となるが今年は更に減少が目立った。対前年同月比でも10%ほどの減少であった。暫定税率の期限切れについては、この一ヶ月間の燃料価格は恵みの雨となったが、今後の価格転嫁交渉が一層課題になるとと思われる。